

未来を開く

長井市立長井北中学校

No34 令和3年8月23日

第1回学校評価結果

「学校評価」へのご協力、ありがとうございました。各項目の結果から、成果や課題等を明らかにして、今後に生かしてまいります。

1 確かな学力の育成	生徒	保護者	教職員
①授業では、授業内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる	96%		
②先生方は、わかりやすく、楽しい授業をしてくれている	95%	90%	86%
③自分は、授業中に積極的に友達と話し合ったり教え合ったりしている	93%		73%
④5時間授業が増えたことで、以前より家庭学習に計画的に取り組んでいる	87%	70%	73%
2 自尊心の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は、自信をもって自分の長所を言える	78%	96%	91%
②自分の役割に、責任持って活動することができている	97%		95%
③いじめや嫌がらせがなく、温かい雰囲気の中で生活している	95%	95%	100%
④先生方や友達とは、困ったときに相談ののってくれる	97%		
3 健康・体力の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は家庭で決めたルールを守って、インターネットやゲームをしている	88%	68%	73%
②朝食をしっかりと取り、睡眠時間を確保しようとしている。	92%	71%	77%

③交通ルールを守り安全に注意して、事故やけがに遭わないよう努力している	99%		95%
④5時間授業が増えたことで、家庭での生活にゆとりができています	93%	73%	
4 地域の学校・開かれた学校づくり	生徒	保護者	教職員
①北中は、地域に貢献し地域と共に伸びる学校になっていると思う		95%	91%
②学校だより、学年・学級だより等で学校生徒の様子がよくわかる		93%	96%

※数値は、4段階評価のAとBの数値の合計。

A：大変よくできている B：まずまずできている

C：あまりできていない D：ほとんどできていない

項目ごとの結果を一覧表にまとめて整理しました。

生徒、保護者、教職員の設問表現は多少異なりますが、関連項目ごとの数値を掲載しました。生徒設問項目における「〇〇している、〇〇してくれている」は、教職員の項目では「〇〇するよう指導している、〇〇と声がけしている」などと読み替えてください。



学校としては、次のような《考察》を行いました。

- 1 確かな学力の育成**（+、-）は昨年度比
 - ① 生徒の授業への意欲**
生徒のA、Bの合計が96%。特にAが62%と高い意欲。（1年48%、2年66%、3年74%）今後も継続したい。
 - ② わかりやすい授業**
生徒95（-3）%、保護者90（+1）%、教員の指導86（-14）%。生徒・保護者の満足感がある。より一層生徒の立場で、さらに「わかる」「楽しい」授業をめざし、学力の向上を図る。
 - ③ 話し合いや教え合い**
生徒93%、教員の指導73（-1）%。授業への意欲と相関関係が見られる。自他の考えを比較し、合い高め合えるような授業を工夫と「必要感のある場面」を工夫する。
 - ④ 家庭学習**
生徒87（±0）%、保護者70（+2）%、教員の指導73（-13）%。自ら計画的に取り組む働きかけが必要。

2 自尊心の育成 (＋、－)は昨年度比

① 自分の長所を言える

生徒78%、保護者96(+16)%、教員の指導91(+14)%。
一人一人の良さを見つけ、個を伸ばす指導を心がけた。5時間授業で家庭の時間が増え、保護者と交流の時間が増加したことの成果が、保護者の結果に反映した。

② 責任感

生徒97%、教員の指導95%。
自分の役割が明確で、一人一人に居場所がある。よさや頑張りを認め、自信につなげていく。

③ いじめや嫌がらせがない

生徒95(-2)%、保護者95(+1)%、教員の指導100%。いじめ撲滅宣言等により、自治的な活動が功を奏している。今後も、安全・安心な学校づくりに向け、全員で取り組む。

④ 相談にのってくれる

生徒97(-1)%。生徒や保護者からの信頼感が高い。相談しやすい体制づくり、安心して話せる雰囲気づくりを進める。

3 健康・体力の育成 (＋、－)は昨年度比

① メディアのルール

生徒88(-3)%、保護者68(+10)%、教員の指導73(-10)%。
生徒、保護者、学校の危機意識に差。家庭と学校が連携し、意識的な声かけを継続し、安全利用に向けたルールの徹底に努めたい。

② 朝食・睡眠

生徒92(-1)%、保護者71(-1)%、教員の指導77(+3)%。
生徒と保護者の意識に差。家庭と学校が連携した生活リズムの指導が必要。

③ けが・事故防止

生徒99(±0)%、教員の指導95(-1)%。
軽微な事故の発生や、地域や保護者から登下校の安全について心配の「声」が寄せられるなど、実態と認識に差が見られる。交通安全(特に、自転車の乗り方)の指導を継続し、意識を一層高めていく。

4 開かれた学校づくり (＋、－)は昨年度比

① 地域に貢献する学校

保護者95(-3)%、教員の指導91(-9)%。
地域行事や校外子ども会、ボランティア活動など地域活動への参加意欲は高い。しかし、コロナ禍で実行できない状況。

② 情報発信

保護者93(+2)%、教員の指導96(±0)%。
今後とも、「学校だより」「学年・学級だより」「ホームページ」等で情報発信を進める。

この他、生徒、保護者の方々からは貴重な「声」をたくさん頂戴しました。2学期の職員会議(8月18日(水))では「『声』を謙虚に受けとめ、日常指導に生かすこと」を確認しました。

〈 2 学期の指導のポイント 〉

◇毎日の授業や家庭学習を一層充実させ、学力向上を図る

- ・教師は常に生徒の立場(気持ち)で授業をすすめ、「わかる」「できる」「楽しい」授業を行い、「学力」をつける
- ・授業と家庭学習を連動させ、家庭学習の改善を図る

◇自分に自信を持たせる

- ・一人一人の良さを取り上げ、周囲からの働きかけを意識して行い、生徒の自信につなげる

◇生活リズムを整える

- ・メディアのルール等、家庭との連携のもと、自己管理の視点から声かけ等に努める

◇安全意識の一層の高揚を図る

- ・ならぬことはならぬ!安全への意識を高め、継続して「自分の命は自分で守る!」を徹底させる

次回の「学校評価」は、11月実施予定ですが、お気づきの点は、そのつど、学校までお寄せくださるようお願いいたします。

= ありがとうございます =

7月13日(火)に、慈光園「さくら会」の佐藤会長様がご来校になり、空き缶10.5kg寄贈していただきました。生徒会活動へのご支援に感謝申し上げます。

